

チャレンジ支援推進地域事業研究報告書

都道府県 秋田県

<p>1. チャレンジ支援ネットワークの全体像</p>	<p>(事業名) あきた女性チャレンジサポート事業 (ネットワーク等全体像) 別添資料 1 参照 (ネットワーク参加機関) 別添資料 2 参照 (事業の経過及び概要) 別添資料 2 参照 平成 17 年 5 月～平成 18 年 3 月 あきた女性チャレンジ支援連絡協議会、 チャレンジサイト企画チーム、チャレンジ啓 発企画チーム会議開催 平成 18 年 1 月 あきた女性チャレンジ事例発表会開催 2 月 あきた女性チャレンジサイト開設 3 月 あきた女性チャレンジ支援市町村職員研修会 開催 あきた女性チャレンジ支援ホームページ作成 講習会開催</p>
<p>2. 女性のチャレンジ支援関係事業</p>	<p>(1) チャレンジ支援ネットワークを活用し、複数の支援機関が 連携して実施した事業 ア. 「あきた女性チャレンジサイト」の開設 連携機関名 あきた女性チャレンジ支援連絡協議会構成機関 連携事業の具体的な内容(目的、実施期間、役割分担等) 目的 女性のチャレンジ支援に関する情報及び地域における 学習・ボランティア等の様々な情報を総合的に管理し、常 時情報の提供や活用を図るため、事業の拠点施設となる 中央男女共同参画センターのホームページを整備し、チ ャレンジサイトを開設する。 運用開始 平成 18 年 2 月 役割分担等</p>

	<p>チャレンジ支援連絡協議会委員により構成されたチャレンジサイト企画チームで、サイトの構成及び運営方法等の検討を実施。</p> <p>イ．「あきた女性チャレンジ事例発表会」の開催</p> <p>連携機関名 あきた女性チャレンジ支援連絡協議会構成機関</p> <p>連携事業の具体的な内容（目的、実施期間、役割分担等）</p> <p>目的 身近な女性の活動（ロールモデル）を紹介する事例発表会を実施することで、チャレンジ意欲の創出を図る。</p> <p>実施内容等 事例発表及び意見交換 平成１８年１月２２日（日）明德館カレッジプラザで開催 「Women's Action あきた女性チャレンジ事例発表会 ～ 起業 のヒントはどこに？～」 事例発表 「つどいの広場 ブランコ」佐々木久美子さん ギャラリー「ココラボラトリー」笹尾千草さん 「（有）華の豆会」 山内 みどりさん 「農家民宿・星雪館」 門脇 富士美さん</p> <p>役割分担等 協議会委員により構成されたチャレンジ啓発企画チームで、事例発表会構成の企画、事例発表者の選出等を行った。協議会の構成機関を通じ、幅広い層への広報を展開した。</p>
<p>３．事業の成果及び今後の課題</p>	<p>（１）事業全体の成果</p> <p>人的ネットワークの構築 協議会、チーム会議の開催により、各機関の事業を相互に把握し、連携について検討する機会となった。また、委員による事業実施により、支援機関相互の出会いの場となり、新たな人的ネットワーク形成の機会となった。</p> <p>情報ネットワークの構築 ホームページ「あきた女性チャレンジサイト」の開設により、関係機関・団体の垣根を越えた支援情報、イベント情報等を掲載し、チャレンジしたい女性に効果的な情報提供を行う仕組みができた。</p> <p>身近なチャレンジモデルの発掘・情報提供</p>

	<p>「あきた女性チャレンジ事例発表会」の開催にあたり、関係機関・団体からチャレンジモデルの推薦を受けることにより、多分野のチャレンジモデルを発掘することができた。また、報告集の作成により、チャレンジモデルの情報提供の機会となった。</p> <p>(2) 今後の課題</p> <p>支援機関の連携強化</p> <p>女性のチャレンジ支援に関して、各支援機関の共通認識を図ることはできたが、チャレンジしたい女性に必要な情報を提供し、実際の活動につながるような一元的な支援体制を整えるため、各機関の連携強化を図るなどの体制整備が必要である。</p> <p>チャレンジサイトの運用</p> <p>広範囲にわたるチャレンジ支援情報の収集、整理及び効果的な提供方法の検討や、チャレンジサイトの利用促進を図るための広汎なPRの実施が必要である。</p> <p>チャレンジサポートアドバイザーの機能強化</p> <p>効果的な情報提供、他機関への引継をするための、アドバイザー機能の強化が必要である。</p> <p>1 . 2 . に記入した各事業についてご記入ください。</p>
4 . 備考	
5 . 担当部課等	<p>(所在地) 秋田県秋田市山王 4 丁目 1 - 1</p> <p>(部課名) 秋田県生活環境文化部男女共同参画課</p> <p>(担当者) 落合 晶子、斎藤 淳子</p> <p>(部課名) 秋田県中央男女共同参画センター</p> <p>(担当者) 飯田 修</p>

注) 1 分量は、A 4 版 2 枚程度でお願いします。

2 原稿は、パソコンソフト(ワード又は一太郎)にて作成していただき、紙及び電子媒体(フロッピー)によりご提出ください。

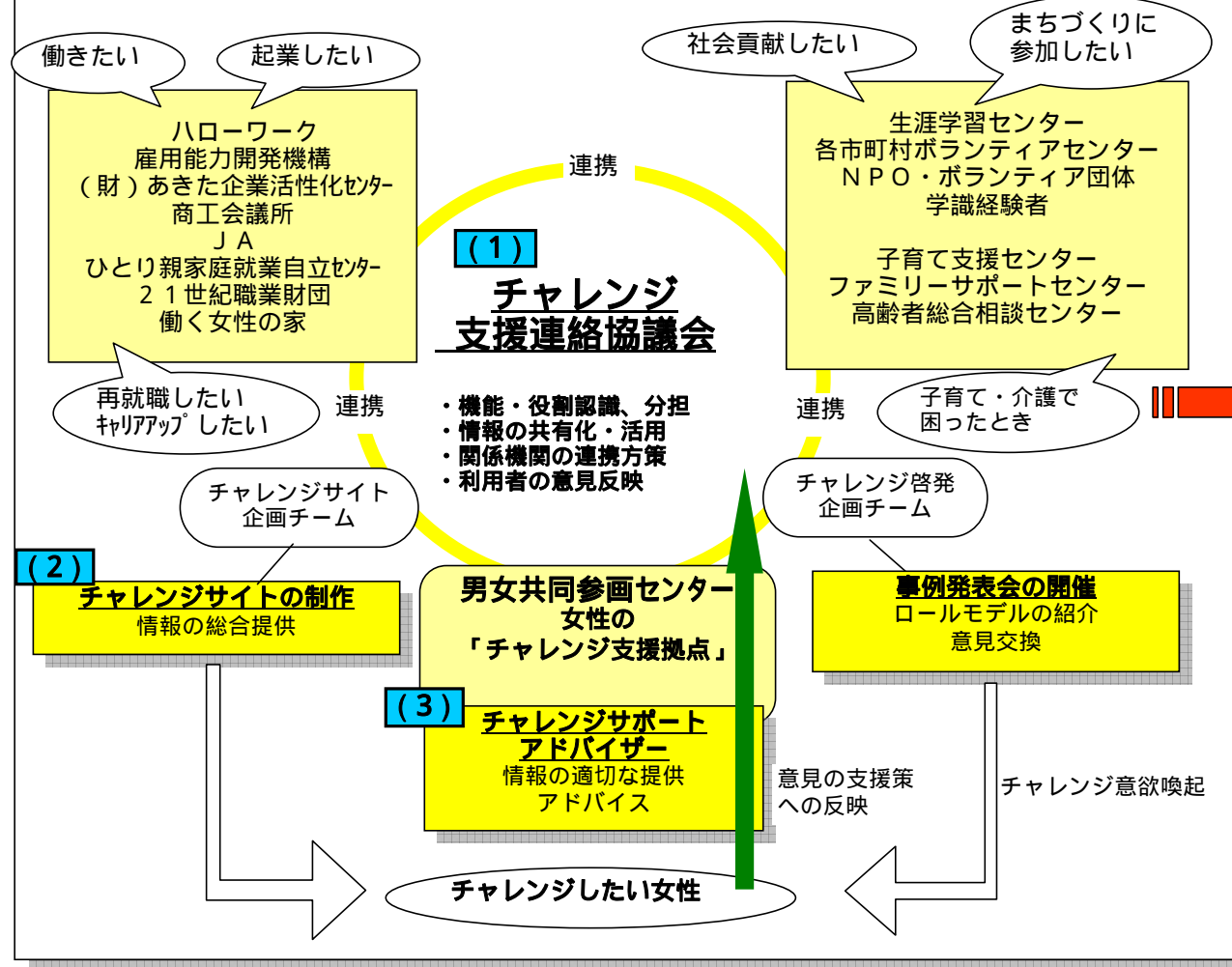
3 そのほか、成果物、参考資料等を添付してください。

あきた女性チャレンジサポート事業

働きたい、キャリアアップしたい、起業したい、社会貢献したい等の意欲を持った女性が、必要な時に効率的に情報を入手できるよう関係機関のネットワーク化により、総合的な情報提供の体制を整備

【17年度事業内容】

ネットワークによる支援強化



【18年度以降】

支援体制の確立

支援機関の連携強化

チャレンジサイトの利用促進

チャレンジサポートアドバイザーの機能強化

17年度国モデル事業内容

(1) (2) (3)

あきた女性チャレンジサポート事業 事業内容及び実施結果の概要

1 チャレンジ支援連絡協議会の設置

(1) 目的

女性の様々なチャレンジを支援するため、関係機関・団体が情報交換、情報の活用、機関の連携の方策等を協議するとともに、チャレンジ支援のための事業を実施することにより、連携を強化し、各機関の持っている機能を活かしたネットワークを構築する。

(2) 内容

チャレンジ支援連絡協議会（本部会）

構成機関（22 機関）

分野	機関名
雇用	秋田労働局雇用均等室
	(財)21世紀職業財団秋田事務所
	独立行政法人雇用・能力開発機構秋田センター
	ひとり親家庭就業自立支援センター
起業	(財)あきた企業活性化センター
	秋田県商工会議所連合会
農業・漁業	J A あきた女性組織協議会
	秋田県漁業協同組合女性部
キャリアアップ	秋田県生涯学習センター
	秋田市女性学習センター
	秋田県働く女性の家連絡協議会
地域活動・ボランティア	NPO法人あきたパートナーシップ
	NPO法人環境あきた県民フォーラム
	秋田ボランティア協会
国際交流	あきた国際交流ネットワーク
子育て支援・介護等	子育てネットサポート「Willこねっと」
	秋田ぼっぼろうの会
	(財)秋田県長寿社会振興財団
学識経験者	秋田県立大学 総合科学教育研究センター
男女共同参画	秋田県北部男女共同参画センター
	秋田県中央男女共同参画センター
	秋田県南部男女共同参画センター

実施状況

【第1回会議 平成17年5月19日】

- 議題 ・女性チャレンジ支援事業、連絡協議会の趣旨説明及び協議会構成機関の事業内容紹介
・協議会の部会である、チャレンジサイト企画チーム及びチャレンジ啓発チームの構成委員の決定

【第2回会議 平成18年3月8日】

- 議題 ・平成17年度事業報告
・平成18年度事業及び今後の協議会実施方法について

チャレンジサイト企画チーム（部会）

構成員 本部会構成メンバー（7機関）

雇 用 : (財)21世紀職業財団秋田事務所
起 業 : (財)あきた企業活性化センター
農 業 ・ 漁 業 : JAあきた女性組織協議会
ス キ ル ア ッ プ : 秋田市女性学習センター
地域活動・ボランティア : NPO法人 あきたパートナーシップ
あきた国際交流ネットワーク
男 女 共 同 参 画 : 秋田県中央男女共同参画センター

内 容 効果的な情報提供を行うためチャレンジサイトの構成・内容の企画及び、サイトの効果的な運営の検討を行う。

【第1回会議 平成17年6月10日】

- 議題 ・チャレンジサイト事例について
・チャレンジサイト構成及び掲載情報について

【第2回会議 平成17年11月18日】

- 議題 ・あきた女性チャレンジサイト概要（デザイン案、構成等）について
・チャレンジサイト名称について

チャレンジ啓発企画チーム（部会）

構成員 本部会構成メンバー（9機関）

雇 用 : 秋田県ひとり親家庭就業自立支援センター
起 業 : 秋田県商工会議所連合会
農 業 ・ 漁 業 : 秋田県漁業協同組合女性部
ス キ ル ア ッ プ : 秋田県生涯学習センター
地域活動・ボランティア : NPO法人 環境あきた県民フォーラム
子育て支援・介護等 : 秋田ぽっぽろうの会
学 識 経 験 者 : 秋田県立大学総合科学教育研究センター
男 女 共 同 参 画 : 秋田県北部男女共同参画センター
秋田県南部男女共同参画センター

内容

女性のチャレンジ意欲の創出を図るため、チャレンジ事例発表会を企画・実施する。また、チャレンジ事例を収集する過程で得られた必要支援に関する情報や意見を会議へ反映させる。

【第1回会議 平成17年6月10日】

議題 ・チャレンジ事例発表会の構成

・発表者選定方法

協議会構成機関、団体からの推薦による

【第2回会議 平成17年8月31日】

議題 ・事例発表会対象について

チャレンジについて関心を持つビギナー層

・事例発表会構成について

パネルディスカッション（2時間）、会場との意見交換

・発表者について

推薦された候補者の中から、分野、年代、地域バランスを考慮して4名を決定

【第3回会議 平成17年11月16日】

議題 ・発表会タイトルについて

・広報について

・当日役割分担について

【第4回会議 平成18年2月13日】

議題 ・チャレンジ事例発表会実施状況

・次年度の取り組みについて

・あきた女性チャレンジ事例発表会報告書について

2 チャレンジサイトの整備

（1）目的

女性のチャレンジ支援に関する情報及び地域における学習・ボランティア等の様々な情報を総合的に管理し、常時情報の提供や活用を図るため、事業の拠点施設となる中央男女共同参画センターのホームページを整備し、チャレンジサイトを開設する。

（2）内容

あきた女性チャレンジサイトの開設

・運用開始 平成18年2月

3 チャレンジ事例発表会の開催

（1）目的

身近な女性の活動（ロールモデル）を紹介する事例発表会を実施することで、チャレンジ意欲の創出を図る。

(2) 内容

あきた女性チャレンジ事例発表会

・開催日 平成18年1月22日

「Women's Action あきた女性チャレンジ事例発表会 ～ 起業 のヒントはどこに～」

・事例発表及び意見交換

「つどいの広場ブランコ」(子育て支援)	佐々木 久美子さん
ギャラリー「ココラボラトリー」(起業)	笹 尾 千草さん
「(有)華の豆会」(起業・農業分野)	山 内 みどりさん
「農家民宿・星雪館」(農家民宿)	門 脇 富士美さん
コーディネーター 国際教養大学助教授	前 中 ひろみさん

あきた女性チャレンジ事例発表会報告書の作成

4 チャレンジサポートアドバイザーの育成

(1) 目的

チャレンジネットの中核を担う男女共同参画センターにおいて、チャレンジしたい女性に対する情報提供や、相談内容に応じた具体的方法のアドバイス、専門機関等への橋渡しを行うアドバイザーとしてセンター職員を育成するため、専門研修への派遣を行う。

(2) 内容

役割

- ・相談者への的確な情報提供、各自のチャレンジ内容に応じた具体的な行動のアドバイス
- ・専門機関の紹介・連絡調整
- ・チャレンジサイトの情報管理

養成内容

- ・男女共同参画センター職員を、国立女性教育会館主催のチャレンジ支援アドバイザー研修へ派遣(平成17年10月26日～28日)
- ・チャレンジ支援連絡協議会委員として、協議会及びチーム会議、事業へ参加

5 関連研修の実施

市町村担当職員研修会

開催日 平成18年3月8日

内容

- ・講演「女性のチャレンジが支える21世紀・日本」
講師 読売新聞社調査研究本部主任研究員 北村 節子氏
- ・あきた女性チャレンジサイトの活用について

あきた女性チャレンジ支援ホームページ作成講習会

開催日 平成18年3月13日、15日

内 容 男女共同参画推進に取り組む団体等を対象に、インターネットを利用した情報収集、判断、情報発信能力の向上を図るための講習を実施。